

科目名	こどもの保健 I ②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	松下 明美		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	こども保育科 3年						
授業概要	こどもの成長、発達、年齢的特性を理解した上で、小児期に罹患しやすい疾患について学習する。小児期の疾患については、身近なものから、徐々に、保育者として知っておくべき専門的な疾患へと移行していく。1～3項目が終わるごとに小テストを行い、復習と理解度の確認をする。基礎知識を学習した上で、予防接種を含む予防対策まで理解できるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					小児期各期の罹患しやすい疾患についての基礎知識を学び、概要を説明することができる	
	○					小児期の疾患、症状を知った上で予防対策についての説明をすることができる	
	○					予防接種に関する内容、接種時期について理解し重要性を説明することができる	
		○				子どもの様子から、からだや心の状態変化に気づく観察の視点へと応用することができる	
			○			子どもやその保護者の身体的、精神的、社会的側面へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	・ミネルヴァ書房 よくわかる子どもの保健／・医歯薬出版 日本外来小児科学会編著 お母さんに伝えたい子どもの病気ホームケアガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	子どもの疾患の特徴(先天異常-遺伝子、染色体異常)			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	2	子どもの疾患の特徴(先天異常-胎芽、胎児病)／呼吸器疾患-解剖生理			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	3	呼吸器疾患-上気道、下気道疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	4	重要な感染症(ウイルス感染-麻疹、水痘など)			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	5	重要な感染症(ウイルス感染-風疹、流行性耳下腺炎など・細菌感染-百日咳)			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	6	重要な感染症(ウイルス感染-インフルエンザなど・細菌感染・その他)			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	7	消化器疾患-解剖生理、ウイルス性胃腸炎など)			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	8	消化器疾患-細菌性腸炎など			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	9	循環器疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	10	泌尿・生殖器疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	11	中枢神経系疾患／代謝・内分泌疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	12	血液疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
	13	腫瘍性疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと・授業内容に関わる確認テストを実施するので復習しておくこと		
	14	アレルギー疾患／整形外科疾患／その他の疾患			教科書の該当範囲を読んでおくこと		
15	乳幼児突然死症候群／予防接種			教科書の該当範囲を読んでおくこと			
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		40%
	宿題・レポート	○			○		10%
発表・作品							
履修上の注意	2年生で学習した内容が基礎になるので、しっかりと理解した上で授業内容を聞くようにしてください。						

科目名	発達心理学						
科目名(英)	developmental psychology						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高巢明子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	臨床心理士・シニア産業カウンセラー・公認心理師として、教育機関・医療機関におけるカウンセリング・コンサルテーション業務		
対象学科・学年	こども保育科 3年						
授業概要	人間の誕生から死に至るまで、人間の心や行動がどのように変化していくのか、どのような要因によって変化していくのかを学ぶ。 ①各発達段階(乳幼児期～老年期)からとらえる。 ②諸側面(身体的・知的・言語・感情・社会性等)からとらえる。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各発達段階の人間の心や行動について、説明することができる。	
	○					人間の諸側面からとらえた心や行動の変化やその要因について説明することができる。	
		○				発達という専門的観点で、こどもや福祉サービス利用者を理解・観察することができるようになる。	
				○		多様な他者に配慮する姿勢をもつことができるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	「発達心理学」宮原和子他著／近畿大学九州短期大学 「心理学理論と心理的支援」／社会福祉士養成講座編集委員会／中央法規						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	発達段階と発達課題－生涯発達、発達区分			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	2	子どもの発達(Ⅰ)－遺伝と環境、発達初期			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	3	子どもの発達(Ⅰ)－赤ちゃんの発達の特徴			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	4	発達段階と発達課題・子どもの発達(Ⅰ)・確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	5	子どもの発達(Ⅱ)－認知発達の発達段階			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	6	子どもの発達(Ⅱ)－子どもの認知の特徴・確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	7	子どもの発達(Ⅱ)－愛着の形成と個人差			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	8	子どもの発達(Ⅱ)－心の理解・確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	9	子どもの発達(Ⅱ)－言葉の獲得、言語の機能			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと(1時間)		
	10	子どもの発達(Ⅱ)－遊びの意味、遊びの分類			授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(2時間)		
	11	言語の発達・遊びの発達・確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)		
	12	青年期－青年期の心理的特徴			グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと(1時間)		
	13	成人期－成人期初期・中年期の心理的特徴			グループワークのテーマに沿った資料を事前に整理しておくこと(1時間)		
	14	老年期－老年期の心理的特徴			授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること(2時間)		
15	青年期・成人期・老年期・確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと(1時間)			
評価方法	(1)確認テスト、レポート70% (2)課題・発表・取り組みの姿勢30% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト・レポート	◎	◎		○		70%
	課題・発表・取り組みの姿勢				◎		30%
履修上の注意							

科目名	保育現場実践A (必須選択A)					
科目名(英)	Childcare training A					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中村寛子	
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	近畿大学九州短期大学特任講師	
対象学科・学年	こども保育科3年生					
授業概要	幼児教育において、近年「リトミック」がにわかに脚光を浴びてきた。「リトミック教育」は音楽を通して、全人格を発達させることに力点が置かれる。このリトミック教育を体験、実習することを通して、その技術を習得する。また、幼児教育の根本を見直していく授業である。					
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					リトミックとは何か、理解できる。
		○				リトミックを公民館で親子に実践できる。
			○			リトミックを学内で実践できる。
			○			公民館で親子に実習する内容を自分たちで作り上げられる。
テキスト・教材 参考図書	基礎からわかる「リトミック！リトミック！」石丸由理著(ひかりのくに株式会社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リトミックとは何かを学習する				
	2	リトミックを実習する。(講師が先生、学生が生徒)(対象年齢別1歳児、2歳児)				
	3	リトミックを実習する。(講師が先生、学生が生徒)(対象年齢別3歳児、4歳児)			指導案作成	
	4	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)6月実習分			実習中に使用する物の作成	
	5	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)			公民館リトミックの練習	
	6	リハーサル				
	7	公民館におけるリトミック実習			公民館リトミックの練習・振り返りシートの作成	
	8	実習の反省、振り返り				
	9	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)7月実習分			指導案作成	
	10	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)			実習中に使用する物の作成	
	11	リハーサル			公民館リトミックの練習	
	12	公民館におけるリトミック実習			公民館リトミックの練習・振り返りシートの作成	
	13	実習の反省、振り返り				
	14	リトミック学習のまとめ				
	15	前期試験				
	16	リトミック概念の学習				
	17	リトミックを実習する。(生徒が先生、講師が生徒)(対象年齢別1歳児、2歳児)				
	18	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)10月実習分			指導案作成、実習に使用する物の作成	
	19	リハーサル			実習の練習	
	20	公民館におけるリトミック実習			公民館リトミックの練習・振り返りシートの作成	
	21	実習の反省、振り返り			指導案作成、実習に使用する物の作成	
	22	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)12月実習分			指導案作成、実習に使用する物の作成	
	23	リハーサル			実習の練習	
	24	公民館におけるリトミック実習			公民館リトミックの練習・振り返りシートの作成	
	25	実習の反省、振り返り			指導案作成、実習に使用する物の作成	
26	公民館におけるリトミック実習準備(指導案作成、準備)1月実習分			指導案作成、実習に使用する物の作成		

	27	リハーサル	実習の練習				
	28	公民館におけるリミック実習	公民館リミックの練習・振り返りシートの作成				
	29	実習の反省、振り返り					
	30	後期試験					
評価方法	三六市民センター等実習先、授業態度を中心に、以下の観点により評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					20%
	実習時評価		○	○	○		40%
	授業時評価		○	○	○		40%
履修上の注意	一ヶ月に一度、公民館の子育て広場において、実際に親子と一緒にリミックを実習する(60分)前期は、学生による制作指導(例:スノーボールを作ろう、写真縦を作ろう等)と講師によるリミック実習、後期はすべてを学生が担当できるようにする。						

科目名	保育現場実践B (必須選択A)						
科目名(英)	art&craft for children						
単位数	4単位(2)	時間数	60(30時間)	担当者	屏賀 一男		
実施年度	2020年度	実施時期	通年(前期)	担当者実務経験	短大・専門学校に於いて図画工作を指導		
対象学科・学年	こども保育科3年						
授業概要	幼稚園教諭や保育士として、必要な感性や表現力を伸ばすために実技基礎演習を行う。幼児教育に於ける平面表現や立体表現の専門的知識や色彩・構図あるいは教材の特性を知ることが必要である。また、現代の時流に沿った教材を、用いた具体的な実践演習、造形表現教育法について理解する。教材・用具の使い方と安全確保・後片づけについて学ぶことは、重要である。						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					制作した自分の作品について、テーマや表現方法、構図・色彩・教材など、文章で説明することができる。	
		○				制作を体験することで、保育現場での自分の役割を理解できるようになる。	
		○				自己の感受性・創造力・集中力を養い、保育の現場で力を発揮することができる。	
				○		園児と触れあう体験から、心や身体の変化に気づき、とっさの時の状況判断を学ぶことができる。	
テキスト・教材 参考図書	講師作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	平面表現～再度、フィンガーアートの制作				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)	
	2	平面表現～絵の具、クレパス、マーカーを使った表現				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)	
	3	造形表現～ダンボール、紙粘土、毛糸を使った表現				次回の授業のための教材を、自分で用意する(20分)	
	4	造形表現～紙粘土、毛糸・新聞を使った表現				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)	
	5	平面表現～色紙を使った表現				次回の授業のための教材を、自分で用意する(20分)	
	6	平面表現～色紙を使った表現(自画像)				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)	
	7	造形表現～スタンドグラスとしての表現				次回の授業のための教材を、自分で用意する(20分)	
	8	造形表現～スタンドグラスとしての表現(フットライト)				授業終了時に、課題についてレポートを作成すること(20分)	
	9	北九州美術館見学				次回の授業のための構想を、自分で考える(30分)	
	10	北九州美術館見学(自分の作品テーマを決定)				次回の制作のための準備を、自分で検討する(30分)	
	11	美術協会展出品のための制作準備～作品制作のための構想、教材を決定				次回の授業のための構想を、修正(30分)	
	12	美術協会展出品のための制作準備～作品制作(原画制作)				完成にむかっの準備と修正確認(30分)	
	13	美術協会展出品のための制作準備～作品制作				完成にむかっの準備を、もう一度確認する(30分)	
	14	美術協会展出品のための制作準備～作品完成までの手順について				完成、出品にむかっの準備(30分)	
15	定期試験						
評価方法	(1)美術館での展示を見据えた授業(発表・作品)を5回実施する。(2)レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記と実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	(1)発表・作品		◎		○		80%
	(2)宿題・レポート		◎		○		10%
	(3)定期試験		◎		○		10%
履修上の注意							

科目名	保育実習応用B (必須選択A)						
科目名(英)							
単位数	4単位(2)	時間数	60(30時間)	担当者	権藤 直美		
実施年度	2020年度	実施時期	通年(前期)	担当者実務経験	保育所にて保育士として勤務		
対象学科・学年	こども保育科 3年						
授業概要	保育現場では子どもたちの健康や安全・成長を支えるだけでなく、子どもたちが日々楽しく保育生活を送っていけるよう、驚きや楽しみ等々の提供をしていくことが大切である。この授業では保育現場の実践に活かせる物の一つとして【人形製作～人形劇】までを行い、その中でどうすれば子供たちに喜びや楽しみを提供しているのかを考え工夫していく力をつけていくことを目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					子どもたちに伝わりやすい言葉遣いや言い回しを工夫していくことができる	
			○			子どもたちの目を引き付けるような表情や配色を考えて作成していくことができる	
			○			子どもたちの耳を引き付ける声のトーンや抑揚を意識して演じていくことができる	
テキスト・教材 参考図書	棒人形製作用素材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション				どんな人形劇をしたいか考えておく(人数なども考えたうえで…)(もともとある物語とするのか、オリジナルで	
	2	どのような人形劇をするのか、配役を決める				"	
	3	【作成開始】頭部作成 …丸形にする				時間内に作成していくことを意識しておく	
	4	頭部作成…切り取って接着していく				"	
	5	頭部作成… "				"	
	6	胴体作成				"	
	7	胴体作成				"	
	8	人形の洋服や髪の毛など装飾をつける				事前にキャラクターのイメージをわかって顔や洋服などのデザインをきめておく	
	9	"				"	
	10	人形劇練習 & 背景や小物作り				配役のセリフは台本を見なくても言えるように暗記しておく	
	11	"					
	12	"					
	13	"					
	14	リハーサル				本番同様に行えるよう必要な物を準備しておく	
15	人形劇発表				必要な物を漏れなく準備し発表を迎えられるようにしておく		
評価方法	(1) 作品の出来栄 (2) 発表への意欲・参加状況 以上を下記の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※前期・後期で担当者が異なるため、通年評価は、前期50%・後期50%で、後期終了時に増田が行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	○	○	◎	◎		100%
履修上の注意							

科目名	福祉行財政と福祉計画 (必須選択B)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	島 京子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	こども保育科・3年						
授業概要	現代の我が国における福祉行財政の実施体制・状況について、その仕組みを理解し、福祉行財政が実際にどのように実行されているのかを学ぶ。現在の、我が国の福祉行財政の仕組みは、市町村行政を中心に実施されているが、国と地方自治体との関係の中で、福祉施策の実施がどのようにされているのか、財政の仕組みがどのようにになっているのかを学ぶ。福祉計画の意義や目的、政策策定の体制、方法、留意点について学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○		○			
	○	○		○			
	○	○		○			
目標							
①福祉行財政に関する国、都道府県、市町村の役割及び国と地方との関係を理解し、概要を説明することができる。							
②福祉制度の財源、福祉行財政の動向、福祉行政の組織、団体および専門職の役割について理解し、概要を説明することができる。							
③福祉計画の意義、目的、政策策定の体制、方法、留意点について説明することができる。							
テキスト・教材 参考図書	新・社会福祉士養成講座 10. 福祉行財政と福祉計画(中央法規出版) 福祉六法						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	福祉行財政と福祉計画①福祉と制度			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	2	福祉行財政と福祉計画②福祉の法制度と福祉計画			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	3	福祉行政①社会福祉と法制度			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	4	福祉行政②福祉行政の組織			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	5	福祉行政③社会福祉基礎構造改革			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	6	福祉財政			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	7	福祉行政の組織・団体の役割			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	8	福祉行政の専門職の役割			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	9	福祉計画の意義と目的			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	10	福祉計画の理論と技法①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	11	福祉計画の理論と技法②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	12	老人福祉計画・介護保険事業計画			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	13	障害者計画・障害福祉計画			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	14	地域福祉計画			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	15	まとめ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
評価方法	①宿題・レポートを実施する。②定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	◎	◎		◎		50%
	発表・作品						
履修上の注意	受講時、居眠りなど受講態度が不良であれば、欠課とみなす。						

科目名	社会保障 (必須選択B)						
科目名(英)	social security						
単位数	4単位(2)	時間数	60(30時間)	担当者	安川 渉寛		
実施年度	2020年度	実施時期	前期(通年)	担当者実務経験			
対象学科・学年	こども保育科3年						
授業概要	国家資格である社会福祉士並びに精神保健福祉士の取得に際し、必須科目であると同時に、社会福祉構造全般を学ぶことができ、福祉系の就職及び業務遂行にあたっては、基底となる科目である。 本授業では、形式的知識の習得から、業務に際しては説明できる能力が必須である為、それらの習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		自身の生活と社会保障の関わりについて認識をもつことができる。	
		○				形式的知識を身につけ、1つ以上の福祉制度を簡略化して説明できる。	
					○	テキストの文章表現よりも分かりやすく、ビジュアルアウトプットができる。	
テキスト・教材 参考図書	社会福祉士要請講座編集委員会編『新・社会福祉士要請講座12 社会保障 第6版』(中央法規)2019年出版 ※この他にも、厚生労働省作成資料等を配布することがある						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション・社会保障論の定義付け			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	社会保障論の基礎的考え方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	社会保障の歴史(社会保障の誕生～発展及び歴史的展開等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	社会保障の歴史(日本における社会保障の歴史的展開と発展過程等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	社会保障の構造			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	社会保障の財源と費用			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	前期前半のレビュー(小テストの実施予定)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	年金保険制度(沿革と概要、公的年金制度の全般等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	年金保険制度(国民年金制度全般等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	年金保険制度(厚生年金保険制度全般等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	年金保険制度(他制度とのリンク及びレビュー等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	医療保険制度(沿革と概要、ステークホルダーの概念等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	医療保険制度(国民健康保険制度全般等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	医療保険制度(後期高齢者医療制度、混合診療、レビュー等)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	前期後半のレビュー(小テストの実施予定)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	授業における提出物、発言、発表、小テスト等(30%)、定期試験(70%)の割合を基準に、個別で総合的に勘案して、評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				70%
	授業における提出物、発言、発表、小テスト等				○		30%
履修上の注意	2/3以上の欠席がある場合は、定期試験を受験することができない。						

科目名	人体の構造と機能及び疾病 (必須選択B)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	島 京子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	総合病院にて看護師として勤務		
対象学科・学年	こども保育科 3年						
授業概要	人体の構造と機能、疾病と障害の概要、疾病と障害による人体の構造の変化、それに伴う生活機能の変化、リハビリテーションの概要などについて理解する。人の成長・発達・心身機能と身体機能の概要、ICFの基本的な考え方、健康の捉え方、疾病と障害の概要について理解する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○		○			
	○	○		○			
					①食・活動・排泄・休養・睡眠などの生活行動を司る人体構造と機能についての概要を理解し、説明することができる。		
					②生活機能を低下させる主な疾病・障害についての概要を説明することができる。		
					③機能低下の回復過程としてのリハビリテーションについての概要を説明することができる		
テキスト・教材 参考図書	新・社会福祉士養成講座 1. 人体の構造と機能及び疾病 中央法規出版						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	人の成長・発達と老化①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	2	人の成長・発達と老化②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	3	身体構造と心身の機能①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	4	身体構造と心身の機能②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	5	疾病の概要①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	6	疾病の概要②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	7	疾病の概要③			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	8	疾病の概要④			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	9	障害の概要①			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	10	障害の概要②			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	11	障害の概要③			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	12	リハビリテーションの概要			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	13	国際生活分類(ICF)の基本的な考え方と概要			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
	14	健康のとらえ方			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)		
15	まとめ			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語などは調べておくこと(1時間)			
評価方法	(①)宿題・レポートを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	◎	◎		◎		50%
発表・作品							
履修上の注意	健康・保険・医療に関するニュース番組をみたり、新聞を読んだりする習慣をつけること。受講時、居眠りなど受講態度が不良であれば、欠課とみなす。						

科目名	社会調査の基礎 (必須選択B)						
科目名(英)	Introduction to Social Research Methods						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	阪井 俊文		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	大学で教務経験有		
対象学科・学年	こども保育科3年						
授業概要	我々が生活する”社会”のあり方を理解するために、いわゆるアンケートやインタビューなどの社会調査は不可欠な方法である。しかし、その社会調査は適切な方法で行わなければ意味をなさない。本科目では、社会調査の基礎的な知識について、実例を多く取り入れながら解説する。社会調査を実施する際の一連の流れをイメージできるような順序で講義を進める。なお調査法の知識を習得することは、自身が社会調査に携わる場合のみならず、「科学リテラシー」や「情報リテラシー」を高めるという意義もあることを踏まえて講義を行う。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					不適切な方法で行われた社会調査のデータに惑わされないようになる。	
	○					社会調査を用いた文献を正しく理解できる。	
	○					適切な方法で社会調査を実施できる。	
テキスト・教材 参考図書	大谷信介ほか(編)『新・社会調査へのアプローチ—論理と方法』(ミネルヴァ書房)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	イントロダクション					
	2	”疑似”社会調査の問題点				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	調査の「目的」の決定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	「先行研究」の重要性				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	調査票の作成における注意点				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	ワーディングの重要性				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	サンプリング				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	調査の実施方法				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	回収した調査票の”データ化”				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	データの集計(1)「代表値」				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	データの集計(2)「分散」				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	統計分析・統計的検定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	質的調査・フィールドワーク・言説分析				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	社会調査における倫理問題				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
15	まとめとレポート課題の説明						
評価方法	期末レポート(定期試験に該当)により評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎				100%
履修上の注意							

科目名	卒業研究						
科目名(英)							
単位数	4単位(2)	時間数	60(30時間)	担当者	岩田 佐知子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年(前期)	担当者実務経験	幼稚園にて幼稚園教諭として勤務		
対象学科・学年	こども保育科3年						
授業概要	3年間の子ども保育科での学内学習、実習経験の中で、自らの研究課題を設定し、検証をしていく。その研究過程を通して主体的に取り組む姿勢を身につけ、研究の展開方法を理解し結論を導き出すことができる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		自らの研究目標を明確にし、卒業研究完成まで計画的に取り組むことができる。	
	○	○		○		自ら設定したテーマの現状を捉え、課題を明確にし、今後の方向性を導き出すことができる。	
	○	○				卒業研究執筆のルールを守り完成させることができる。	
テキスト・教材 参考図書	レポート&卒論の書き方 教師作成プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	卒業研究についてオリエンテーション					
	2	題材についての検討			題材検討(1時間)		
	3	課題決定のためのプレゼンテーション			課題決定のための準備しておく(1時間)		
	4	課題研究資料集め			課題研究資料集め(1時間)		
	5	課題研究資料集め			課題研究資料集め(1時間)		
	6	課題研究資料集め			課題研究資料集め(1時間)		
	7	課題研究資料集め			課題研究資料集め(1時間)		
	8	課題研究 整理・骨子作成			課題研究 整理・骨子作成(0.5時間)		
	9	課題研究 整理・骨子作成			課題研究 整理・骨子作成(0.5時間)		
	10	課題研究 整理・骨子作成			課題研究について考える(0.5時間)		
	11	課題研究			課題研究について考える(0.5時間)		
	12	課題研究			課題研究について考える(0.5時間)		
	13	課題研究			課題研究について考える(0.5時間)		
	14	課題研究			課題研究について考える(0.5時間)		
15	課題研究 中間提出			課題研究について考える(0.5時間)			
評価方法	(1)レジュメの提出、本文中間提出(2)卒業研究の完成(3)態度・意欲をもって評価とする。 成績評価機軸は、、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト						
	レジュメ	○	○		○		25%
	中間発表	○	○		○		25%
履修上の注意	卒業研究作成にあたり、外部に出る場合は事前に担当教員の許可を得ること。提出状況が著しく悪い場合は単位を出さない。						

科目名	音楽Ⅲ				
科目名(英)	music performance Ⅲ				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	中村寛子
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	近畿大学九州短期大学特任講師
対象学科・学年	こども保育科3年				
授業概要	保育の現場では、音楽は必須のものとなる。朝登園後「おはようの歌」、昼食には「お弁当の歌」、お昼寝時には「お休みの歌」、降園時には「お帰りの歌」、その他にも自然や季節を感じて感性を高めるために「様々な季節の歌」、「遊びうた」、誕生会等の行事に行進を促す「行進曲」等。その音楽をすべて、保育士が把握をし、ピアノで伴奏していかななくてはならない。この授業では、そのために必要な技術、知識を身に付けるものである。1. 2年生時にできる限り沢山の曲を歌い、ピアノ演奏を習得してきた。3年生は更に年度末にピアノ発表会があるため、課題曲(バイエル教本又はソナチネ曲集より任意の1曲)自由曲(何でも好きな曲1曲、Jポップ、クラシック何でも可)を練習する。ピアノが弾けるようになる喜びを感じてもらう為であり、何でも頑張ればできるようになるということを感じてもらうために、独自に考案した授業内容である。このことにより、自己肯定感が高まり、また、ピアノ技術の向上も期待するものである。				
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法: ○ その他: △
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
		○			
		○			
目標	音楽の基本知識となる、楽典の習得(楽譜、音符や休符、拍子、記号等の知識)ができる。				
	ピアノ演奏実技の習得(正しい運指、テクニック、左右の手のスムーズな動きバラバラな動きに対するスムーズな動きができる)。				
	声楽の基本実技の習得(正しい音程、呼吸法、リズム等)ができる。				
	ピアノ演奏における表現力の習得(強弱、スタッカート、レガート、マルカート、レジェロ等)ができる。				
テキスト・教材 参考図書	バイエル、近大教本、講師準備ファイル、楽典ブック、音楽発表会用楽譜				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	・今期のガイダンス(20分)・バイエル93番(バイエル教則本)の解説(15分)・楽典(10分)・練習(45分)			授業までにバイエル93番を弾いてくる
	2	・おはようの歌の実習(5分)・バイエル94番(バイエル教則本)の解説(15分)・練習(65分)・お帰りの歌の実習(5分)			バイエル94番を弾いてくる
	3	・おはようの歌の実習(5分)・せんろはつづくよどこまでも(近大教本)の解説、歌唱指導(15分)・楽典(5分)・練習(60分)・お帰りの歌の実習(5分)			せんろはつづくよどこまでもの弾き歌いを練習してくる
	4	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			せんろはつづくよどこまでもの弾き歌いを練習してくる
	5	・おはようの歌の実習(5分)・おばけなんてないさ(近大教本)の解説、歌唱指導(15分)・楽典知識の解説(楽典ブック)(5分)・練習(60分)・お帰りの歌の実習(5分)			おばけなんてないさの弾き歌いを練習してくる
	6	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			おばけなんてないさの弾き歌いを練習してくる
	7	・おはようの歌(5分)・アンパンマン体操(ファイル)の解説、歌唱指導(15分)・楽典知識の解説(楽典ブック)(5分)・練習(60分)・お帰りの歌の実習(5分)			アンパンマン体操弾き歌い練習をしてくる
	8	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			すべての曲が合格できるように、よく練習してくる
	9	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			すべての曲が合格できるように、よく練習してくる
	10	・おはようの歌の実習(5分)・ぼくのミックスジュース(ファイル)の解説(15分)・練習(65分)・お帰りの歌の実習(5分)			ぼくのミックスジュースの弾き歌い練習をしてくる
	11	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	12	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	13	・おはようの歌の実習(5分)・てのひらを太陽にの解説、歌唱指導(15分)・練習(65分)・お帰りの歌の実習(5分)			てのひらをたいようの弾き歌い練習をしてくる
	14	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	15	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	16	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	17	・おはようの歌の実習(5分)・1年生になったらの解説、歌唱指導(15分)・練習(65分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	18	・おはようの歌の実習(5分)・実習曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	19	・おはようの歌の実習(5分)・実習曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	20	・おはようの歌の実習(5分)・試験曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	21	・おはようの歌の実習(5分)・試験曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	22	・おはようの歌の実習(5分)・試験曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	23	・おはようの歌の実習(5分)・試験曲練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲の練習
	24	前期試験			
	25	・後期授業ガイダンス(10分)・練習(80分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習
26	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)			ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習	

27	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(6分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
28	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(7分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
29	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(8分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
30	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(9分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
31	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(10分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
32	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(11分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
33	おはようの歌の実習(5分)・ピアノ発表会の練習(80分)・お帰りの歌の実習(12分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
34	中間発表会	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
35	・おはようの歌の実習(5分)・練習(80分)・お帰りの歌の実習(5分)	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
36	・リハーサル	ピアノ発表会の自由曲、課題曲の練習					
37	・ピアノ発表会						
38	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器の名前と演奏方法の学習					
39	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器の名前と演奏方法の学習					
40	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器の名前と演奏方法の学習小物楽器を使った合奏の実習(めだかの学校。とけいのうた)					
41	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(アイアイ)					
42	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(アイアイ)					
43	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(ルパン三世)					
44	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(ルパン三世)					
45	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(未来予想図)					
46	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(未来予想図)					
47	・合奏(保育園や幼稚園で使用する小物楽器の練習)	・小物楽器を使った合奏実習(未来予想図)					
48	・後期試験(合奏試験)						
評価方法	(1)授業中の課題曲(小テスト)、(2)定期試験(ピアノ、声楽、筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 ※ピアノ+声楽の平均が60点未満、及び筆記試験の点数が60点未満の場合は、それぞれ再試験又は課題を課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト		◎		○		20%
履修上の注意	3年生では、実習前は実習先から指定された曲の練習、採用試験前は、採用試験曲の練習、発表会前は発表会の曲を最優先とするため、課題を多く設定しない。個々により目標が異なる。 授業の中での課題曲(小テスト)が合格しない場合は、定期試験の資格がないものとし、試験を受験できない。						

科目名	施設実習指導						
科目名(英)	Body structure and function						
単位数	4単位(2)	時間数	60(30時間)	担当者	岩田 佐知子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年(前期)	担当者実務経験	幼稚園にて幼稚園教諭として勤務		
対象学科・学年	こども保育科3年						
授業概要	施設実習は保育現場において子どもや利用者と直接接することにより、理論の実践化・実践の理論化の両方を試みる体験学習の機会である。施設実習をより効果的に行うために、実習の意義やねらい・実習対象者施設・実習の心構え等について事前指導を行う。 自ら調べることで、より施設についての理解を深める機会とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習: △	実技: △	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		児童福祉施設の概要を説明できる。	
	○	○		○		施設の生活について説明できる。	
	○	○		○		歴史・近郊の傾向について説明できる。	
	○	○		○		援助内容と方法の理解をして実習で実践できる。	
	○	○		○		施設実習の概要と学びのポイントを理解して実習で実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	・近畿大学九州短期大学 保育実習指導 ・ミネルヴァ書房 幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実習施設・日程の確認 実習対象施設についての調べ学習			実習施設希望調査及び実習施設を確認しておくこと(0.5時間)		
	2	調べ学習①			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	3	調べ学習②			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	4	調べ学習③			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	5	調べ学習④			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	6	実習対象施設についての発表①			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	7	実習対象施設についての発表②			実習施設関連のことを調べておくこと(0.5時間)		
	8	オリエンテーションについて			実習ファイルを準備しておく(0.5時間)		
	9	自己課題の振り返り			実習前課題を考えておく(0.5時間)		
	10	記録の書き方①			教科書の該当範囲配布プリントを事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	11	記録の書き方②			教科書の該当範囲配布プリントを事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	12	児童養護施設の目的と処遇			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	13	施設の1日の流れ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	14	実習目標			実習ファイルを準備しておく(0.5時間)		
15	実習の心構え			実習ファイルを準備しておく 教科書の該当範囲プリントを事前に読んでおく(0.5時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施なし。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)実技試験を実施する。 (4)実習評価 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習評価	○	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	○	○				20%
	実技試験	○	○				30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、実技試験の受験資格を与えない。						

科目名	接遇マナーⅡ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15(8コマ)	担当者	野田 アツ子		
実施年度	2020年度	実施時期	通年	担当者実務経験	航空会社で客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	こども保育科 3年						
授業概要	こども保育を学ぶ者としては、専門知識と並行して人と関わる能力が必要不可欠である。他者を尊敬する気持ち、謙虚な姿勢、共感と誠実な対応なしには成り立たない。授業では保護者、取引先、上司に対する状況に合わせた話し方、電話での対応、来客への対応、ビジネス文書など実践的な知識修得を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	△	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		○	○		人との会話は声の響きや話の速度を工夫し、好感を与える話し方聴き方ができる	
	○	○		○		言葉遣いは相手と自分の立場を考慮して尊敬語、謙譲語、丁寧語の使い分けができる	
	○		○	○		電話対応はメモを取りながら感じよくはっきり話し、用件を処理することができる	
	○		○	○		来客対応は迅速に気配りのある立ち居振る舞いで取次、案内することができる	
	○	○				ビジネス文書は形式にのっとり正しい文書用語を使って作成することができる	
テキスト・教材 参考図書	専門教育出版 実社会で求められるビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	好印象を与える自己表現力				アドバイスを参考に繰り返し練習すること	
	2	好印象を与える自己表現力				アドバイスを参考に繰り返し練習すること	
	3	話し方ーコミュニケーション、返事と挨拶				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	話し方ー正しい敬語、敬語の使い分け				小テストを実施するので復習しておくこと	
	5	電話対応ー電話対応の心構え、受け方、かけ方				小テストを実施するので復習しておくこと	
	6	来客対応ー受付から見送りまで				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	7	ビジネス文書ー文書の形式、宛名の書き方				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	プレゼンテーションー実技試験				テーマに沿った準備しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業内で実技試験を実施する。(2)授業の中で小テストを2回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	◎		50%
	小テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意	1回目と2回目はスーツ着用のこと。スマートフォン等情報機器の操作は禁止する。						